

## 全5回 終了

## 災害後の復興を考えて 今できることを みんなで話し合いました

〈対象地区〉



【出典：国土地理院ウェブサイト】

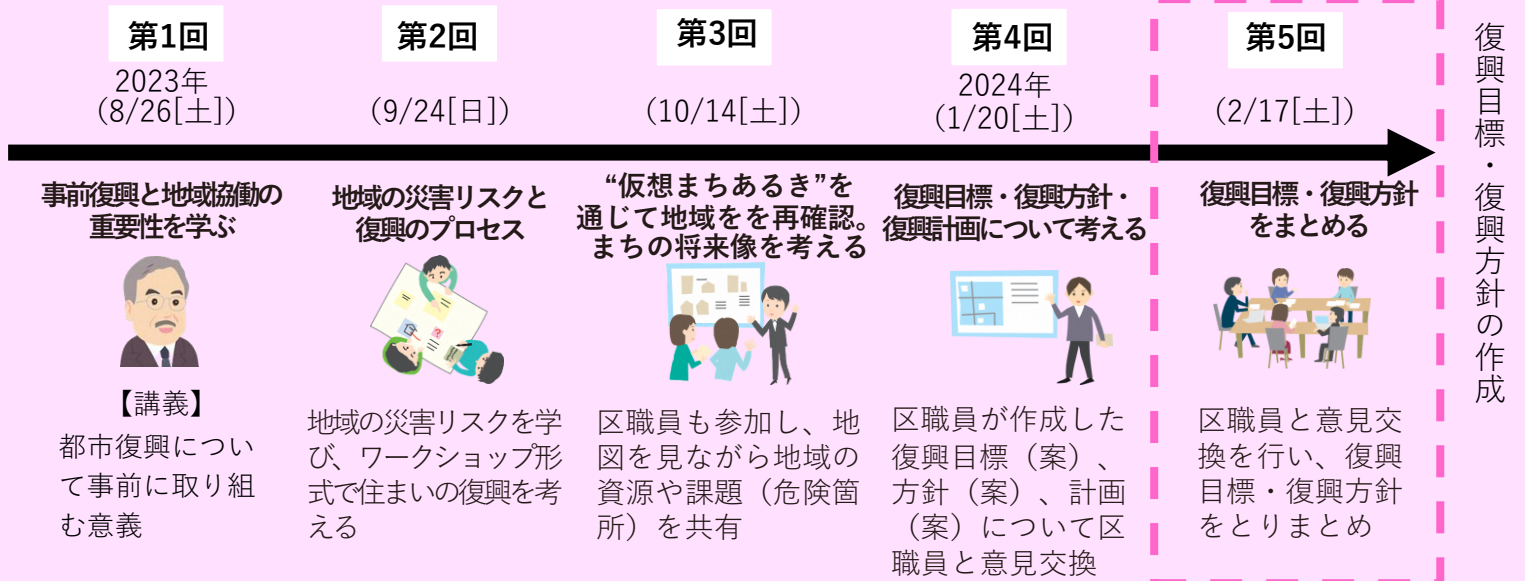
多くの皆様にご参加をいただきました。  
ありがとうございました！

最終回

### 第5回の詳細は裏面へ

第4回での意見を踏まえ、修正した「復興目標（案）・方針（案）」を基に事前に「決める」「実施する」ことを話し合いました。

都市復興シミュレーション全5回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。



復興目標・復興方針の作成

1 大災害後に「復興目標、復興方針（案）」をとりまとめました  
ベースとなる

**目標** 未曾有の大災害（地震・水害）にも負けない、安心して住み続けられるまち

**コンセプト**

災害に強い安心・安全のまち

人々が交流し、文化とにぎわいに溢れるまち

みどり豊かで景観に富んだ住みやすいまち

復興方針の分野	主な内容
市街地整備	排水機能を始めとする基盤整備やゆとりある街なみの形成
道路交通の整備	ゆとりある道路配置やコミュニティに配慮した歩行者空間
公園・緑地の整備	賑わいと安らぎに配慮した公園緑地の配置やまちの緑化
景観のまちづくり	荒川沿いの活用や神社、商店街などの地域資源を生かしたまちの景観
防災のまちづくり	地震や火災、水害に強いまちのあり方
福祉のまちづくり	医療・介護・福祉施設や教育施設などの配置
地域資源・コミュニティ活性化	神社や銭湯などの復興や、お祭り等の地域に根付いた催しの保全 コミュニティを維持した復興のあり方
産業活性化とにぎわいづくり	地元産業の存続や、大学等と連携した新たな産業の創出 地域内ににぎわいを創出する商業施設の配置

※詳細は、別にお配りする「地区復興手順書」に記載しています

2 事前都市復興の取組みとして、事前に実施すること・決めておくべきことを考えました

※一部のみ掲載

被害を低減させるために、住宅の耐震化をすることが大事

地震保険への加入など、個人個人の事前の備えが重要

発災後の生活について事前に考えておくことが必要

コミュニティ単位でまとまって避難できる避難先を行政と連携し確保

3 アンケートの意見

- 高齢者が多い地域だが、若者（大学生等）にも意識を高めて欲しい。
- 今からできることもある。発災時に事前準備・対策が進んでいるかが大きなポイント
- 素晴らしい企画であったので、さらに区内に広げて欲しい。



今回検討した内容を踏まえ、継続的に活動を進めていきます!!

